

# 成果報告書

## 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	一般財団法人 みはら文化芸術財団		
所在地	広島県三原市	設立年	2019年
運営主体	一般財団法人 みはら文化芸術財団		
事業目標	一般財団法人 みはら文化芸術財団が拠点を置く文化施設(三原市芸術文化センター ポポロ)を利用し、中学生を対象に様々な人とモノとの出会いや体験を通じて、ふるさと三原を意識すること、新しい自分自身の可能性の発見や作品に込められた作家の想いにふれ、将来の職業選択の幅をひろげる機会とすること。		
きっかけ	三原市から中学生を対象としたプログラムの検討の打診があり、財団では小学生を対象としたものづくりのプログラムは毎年実施し好評を得ていることから、ものづくりの体験を途切れさせることなく、継続したプログラムを実施したいと考えたこと。また、ものづくりだけではなく、他に類をみない三原市が誇るホールを利用して、芸術を支える仕事にふれてもらいたいとの思いから二つのプログラムを企画するきっかけとなった。		
団体・組織等の連携	<p>三原市教育委員会(企画・実施依頼)          市内在住作家・市内史跡 (ものづくりプログラム)          市内演奏団体(舞台芸術プログラム)          三原市社会福祉協議会 (ボランティア体験プログラム)          ポポロ文化ボランティア (財団育成事業)</p> <pre>         graph TD             A[三原市教育委員会] -- "企画・実施打診" --&gt; B[一般財団法人 みはら文化芸術財団 (企画・実施)]             B -- "検証・次年度計画" --&gt; A             B -- "育成事業" --&gt; C[ポポロ文化ボランティア]             C -- "文化事業のボランティアで活動中" --&gt; B             B -- "協力依頼" --&gt; D[市内在住作家 市内史跡 (ものづくりプログラム)]             B -- "協力依頼" --&gt; E[市内演奏団体 (舞台芸術体験プログラム)]             B -- "協力依頼" --&gt; F[三原市社会福祉協議会 (ボランティア体験プログラム)]         </pre>		
活動場所	三原市芸術文化センターおよび周辺		
活動概要	<p>対象: 三原市市内、三原市近隣市町の全中学生 募集人数: 各20名</p> <p>6月ものづくりプログラム 4回 / 8月舞台芸術プログラム 4回 / 9月体験プログラム 1回</p> <p>●6月 ①先人が残した三原市に点在するアートの発見 ②日本伝統の漆について学びながらのMy箸づくり ③木染めに込められた作家に思いをはせながら、伐採木を使用したオブジェづくり ④自分の想像力の豊かさに気づく、コラージュの制作等 各回で目指すべきことを盛り込んだ。</p> <p>●8月 ①コンサートプランナーの仕事 コンサートの実施には長いプロセスや担当者の強い思いがあること ②樹木医の仕事 ホールがそこに集う人の癒しの空間であるために安全性を保つ努力がされていること ③照明・舞台担当の仕事 完璧な舞台を演出するための見えない仕事の大切さを学ぶ ④ホールが全ての人にとって平等に、そして特別な場所であるために、レセプションとしての体験を通して自分にできることを考える。</p>		

## ○本事業による成果

《6月プログラム 生徒アンケートより抜粋》

1. 今回の講座で物づくりが楽しくなりました。
2. 今回ポポロに来なければ体験や話を聞くこともなかったと思うので、とても勉強になったし、とても楽しかった。
3. これから経験できないような経験ができた。
4. 他校の生徒のみんなと出会える良い機会だと思った。
5. よい作品ができてよかった。
6. 町を歩くのは疲れたけど、いろんなことを知れたのでよかった。

《8月プログラム 保護者アンケートより抜粋》

1. いろいろなジャンルの専門家から話が聴けたようで貴重な体験をしたようです。
2. 車いすの体験が印象に残っているようです。
3. 一回、一回特別な体験をしてきたんだと思う。

今回受講するにあたって、友人と相談した、自分で参加を決めたと答えた生徒が50%を超えていたことは、募集時に具体的なプログラムが提案できた成果であり、今後継続する意義は大きいと思われる。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

●6月 ものづくりの各回のプログラムを実施するにあたり、学芸員、芸術系の大学講師もつとめる漆芸家、造形作家、当市にゆかりの深い染色家のアトリエから講師を招くなど、講師陣についてはより専門性を重視し、生徒の満足度を高めた。また、今回のプログラムで生徒が制作した作品を財団が実施した染色展と同時に展示し、多くの来場客に観ていただくなど、制作意欲が湧くような取り組みをした。

●8月 舞台芸術のプログラムでは、実際に舞台用具をさわり、翌日の演奏会のひな壇組みや、曲に合わせた照明の実技などできるだけ本番に近いものを題材として取り上げ、生徒が興味を持って取り組めるよう工夫した。また、障がい者対応などを含め、ホールだけではなく今後の社会活動にも役立つよう心掛けた。

## ○運営上の工夫

参加者の募集については、教育委員会に協力を要請し、近隣市町の中学校全生徒へチラシ配布を行った。活動の連絡については、メールを使用し保護者に伝えることで、スムーズに連絡をとることができた。文化施設の強みを活かし、ホール公演時のスタッフや出演者に指導をお願いすることで質の高い活動ができた。また、以前から当施設を支えてきた人材を大いに活用し、魅力あるプログラムを提供することができた。

SNSを利用し、各回ごとに活動報告を行い情報発信に心がけた。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

実施場所、実施要員、実施内容については、概ね今年度の内容を軸に継続実施が可能であると考えている。

課題について

●ものづくりプログラムについては、今後も多様でかつ、できるだけ地域を見直し、考えることができる内容が重要であるとの考えから、プログラムにふさわしいアーティストの発掘、交渉等が課題となる。

●舞台芸術のプログラムについては、毎年同様のプログラムでも十分内容の濃いものとなっていると考え、今年度構築した、他団体との連携が継続する鍵となる。

●実施内容をどのように、いつ、生徒、保護者に周知するか。

●実施時期、実施回数、募集人員は何人程度と考えるか。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

今年度の内容は、従来の学校部活動の段階的な移行にすぐにひもづくようなものではないが、様々なものづくりを継続して実施することにより、一つのものづくりを深掘りする活動ができる可能性が生まれ、年間を通じて地域の文化活動の拠点となる可能性はあると考えている。そのためにも、財団としての登録アーティスト制度を検討することや、近隣の芸術系の大学との連携の方法など、計画的にアーティストを確保するスキームを検討する。

また、同時にハード面を対応する財団職員の人材の育成も重要なポイントとなる。アーティスト、教育委員会、地域団体などと連携して、年間計画をたて、実施できる職員が長期に在籍していることも地域移行の活動をめざすうえで重要である。

来年度以降、ものづくり、舞台芸術(令和5年度についてはホールの大規模修繕のために実施予定なし)を2本の柱としながら、段階的な地域移行の活動について模索していく方針である。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	6月プログラム 9名、8月プログラム4名
	学校名	三原市立宮浦中学校ほか三原市内および近隣の尾道市、世羅町の中学校生徒
	募集方法	2022年3月に一般財団法人みはら文化芸術財団が三原市内および近隣の尾道市、竹原市、世羅町の全中学校の全生徒にチラシを配布
指導者	人数等	当財団職員:5名、船木氏庭園事務局:2名、作家・技術者:5名、演奏家:7名、三原市社会福祉協議会:2名
	募集方法	令和3年度、当財団職員から事業に関わる作家や技術者等に依頼
参加者の移動手段		保護者による送迎
活動費用	指導者謝金等	謝金:7,100円/日、交通費:公共交通機関を利用するの料金
	その他	消耗品費:54,423円 印刷製本費:11,510円 ほか
活動財源	会費	6月プログラム :材料費 3,000円
	その他	当財団負担経費:208,140円
スケジュール	基本活動	6月プログラム:4回 8月プログラム:4回 9月希望者のみ参加:1回 いずれも13時30分～16時
	年間	6月プログラム:①6月5日(日)②6月11日(土)③6月18日(土)④6月25日(土) 8月プログラム:①8月7日(日)②8月11日(木)③8月20日(土)④8月27日(土) 希望者のみ参加:①9月3日(土) いずれも13時30分～16時
保険加入等		レクリエーション補償(中学生、スタッフ加入)

## 【活動の様子（写真添付）】

### 6月meet the art アートに出会う アーティストに出会う

第1回アート発見!! みはら町歩き 市内の知られざるアートスポットにmeet 6月5日(日)



第2回うるしを知る・味わう 漆芸家 田代明樹男 中国地方で採れる国産うるしを使って箸作り

6月11日(土)

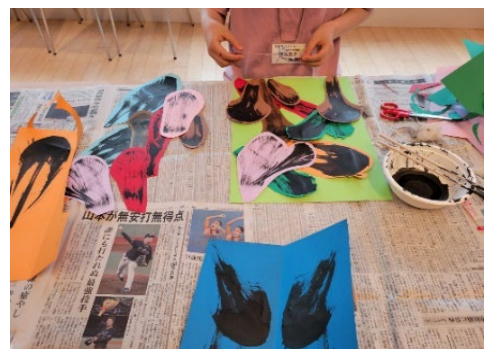


第3回三原の染色家 杉谷富代を知る&木を染めてみよう 坂本牧子

ポポロのケヤキの木がオブジェに変身!! 6月18日(土)



第4回糸引き技法&コラージュ 造形作家 宮下光子 糸引き技法に挑戦!! 6月25日(土)



## 8月meet meet POPOLO ホールを知り尽くそう

第1回What do you want to do? ポポロ館長 片山杜秀にmeet 8月7日(日)



第2回君の知らないポポロ ポポロの外側・内側にmeet 8月11日(木)



第3回舞台more ポポロが誇る舞台・音響・照明のプロフェッショナルにmeet 8月20日(土)



第4回やってみようvolunteer ポポロのボランティアさんにmeet 8月27日(土)



第5回ついにポポロデビュー コンサートにmeet 9月3日(土)

